

令和4年度 FFAC ステップアップ助成プログラム 募集要項

【②発展活動助成】

1 趣旨

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の発展が期待される活動歴2年以上の団体・個人（以下、活動者）が主体となっておこなう文化芸術活動を対象に、申請者自らがさらなるステップアップを図る活動、または文化芸術分野の人材育成・環境整備に寄与する活動に対して、経費の一部を助成します。あわせて専門分野のアドバイザーによる助言、フォローアップによる支援等を実施します。

2 対象となるジャンル

演劇、ダンス、音楽、美術、メディア芸術（メディアアート、アニメーション等）、伝統芸能、その他

3 助成の対象となる活動の実施期間

令和4年9月1日(木)から令和5年2月28日(火)まで

※助成対象活動が完了したときは、実績報告書(収支決算書添付)を活動完了の日から起算して30日を経過した日、又は活動完了の日の属する年度の3月10日のいずれか早い日までに提出する必要があります。

4 助成の対象となる活動

福岡市内で申請者自らが主催する、従来からの取り組みから更に発展させようとする意欲的な活動で、以下の(1)(2)のいずれかに該当する活動

- (1) 文化芸術に関する公演・展示・その他の活動であって、新しい文化芸術を創造し発信するもの。
- (2) 文化芸術分野の人材育成・環境整備に寄与する活動

(活動例)

- ・ 取り組み内容、表現手法、実施規模等において、申請者にとって従来からの活動に新たな試みを加えた活動
- ・ 表現者のスキルアップのためのワークショップ、公開レッスン、セミナー
- ・ 舞台技術者を育てるためのワークショップ、公開講座 等

※新型コロナウイルス感染防止対策を実施している活動が必須要件となります。

5 助成の対象とならない活動

- (1) 当助成金以外に福岡市または福岡市文化芸術振興財団から補助金または助成金の交付を受けているもの、或いはそれらに準じる金銭の交付を受けているもの(例：文化・エンターテインメント施設開放事業、文化・エンターテインメント開催支援事業等)
- (2) 宗教的、政治的、或いはチャリティーを目的とした活動と認められるもの
- (3) 営利を主な目的とする活動及び特定企業の広報・宣伝と認められるもの

- (4) 通常の定期公演・展示とみなされる事業と認められるもの
- (5) 学校教育の一環として行われる学校行事と認められるもの
- (6) 学術研究・学術的出版と認められるもの
- (7) 一般に公開あるいは公募されない活動と認められるもの
- (8) 教室(カルチャースクールを含む)、サークル、単独の流派等が行う稽古事や習い事等の発表会、講習会、展示会などの活動
- (9) 国、地方公共団体(福岡市を含む)が主催・共催する活動(名義のみの共催は除く)
- (10) 第三者の著作権その他第三者の権利などを侵害するもの。

6 助成の対象となる団体・個人

文化芸術分野の発展・普及に資することを主たる目的として、主に福岡市内で活動し、今後の発展が期待される団体・個人で、次の(1)~(7)の要件を全て満たすものとし(6)は団体の場合のみ)。

- (1) 申請時点での活動歴が2年以上あること(団体の場合は設立してから2年以上であること)かつ、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を実施していること。
- (2) 申請時点で過去2年間に、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していること。
※活動実績は、提出された実績資料(過去公演チラシ、パンフレット等)で確認します。
- (3) 責任を持って当該活動を遂行する能力と意欲を有していること。
- (4) 主に福岡市内で活動していること。
- (5) 宗教活動、政治活動を目的としていないこと。
- (6) 団体の場合は法人格の有無は問わないが、次の(a)~(e)の要件をすべて満たし、団体としての組織及び責任の所在が明確であること。ただし、地方公共団体が基本金その他これに準じるものを出資している法人は除く。
 - (a) 定款、寄付行為に類する規約等を有すること。
 - (b) 団体の意思を決定し執行する組織が確立していること。
 - (c) 自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。
 - (d) 3名以上の役員を有すること。
 - (e) 団体活動の本拠として事務所を有すること。
- ※(b)~(e)については、(a)に掲げる規約等に明記されていることが必要です。
- (7) 福岡市暴力団排除条例第6条の規定により、暴力団または暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有しないこと(採択決定にあたり、警察へ照会を行います)。

7 助成金の交付額

対象1件につき、**上限40万円**

※当該活動に係る経費の2分の1の額、または申請書の収支予算積算内訳に記載された自己負担金額のいずれか小さい額の範囲内で決定します(1万円未満切り捨て)。

※助成金の額は、審査会にて審査基準に基づき決定いたします。交付申請額がそのまま交付決定額になるとは限りません。

※採択事業については、交付額の2分の1を上限として一部前払金が可能です。

8 審査方法

一次審査	書類（申請書）による審査 ※一次審査結果は、7月下旬頃に申請者全員に郵送にて通知します。
二次審査	プレゼンテーションによる審査 ※一次審査通過者のみ、8月17日（水）～23日（火）（予定）に実施します。 ※二次審査の結果は8月下旬頃までに二次審査対象者に通知します。

9 審査項目

審査は以下の項目に照らしておこないます。必ずご確認ください。

■活動内容について		
①	創造性	新しい芸術を独自の発想により創り出した活動内容であり、制作や企画、演出などについての工夫が認められるもの
②	波及性	市民への高い波及効果が認められ、市民文化の向上をもたらすもの
③	地域への貢献	(ア)未来の担い手である子どもたちの育成、(イ)共生社会の実現に向けた社会参加の機会づくり(ウ)地域の歴史・文化の継承のいずれかに貢献していると認められるもの(エ)福岡市の魅力向上に資するもの
■個人・団体について		
④	技能性	作品や出演者などの技術水準が高いと認められるもの
⑤	発展性	文化芸術活動を行う団体・個人としての今後の成長・発展をもたらすもの

10 助成活動に対する市の協力

助成活動に採択されると、福岡市及び福岡市文化芸術振興財団による「経費負担の後援事業」としての位置づけとなり、次の支援を受けることができます。

(1) 福岡市の施設の使用料の減免申請ができます。（市民会館ホールを除く）

- ・開催日の当日（※1）
- ・開催にかかる出演者、スタッフ等の控室として、同会場内の施設（視聴覚室、会議室、実習室等）を利用する場合は、その当日（※1、2）
- ・1事業に対して、リハーサル1回（1日のみ）及び、仕込みに要する日（1日のみ）
- ・助成事業の一環としてワークショップ等を開催する場合は、その当日（※1、3）

※1 練習は対象外とします。

※2 開催会場に付設されている控室（ホール控室等）だけでは、事業の開催・運営に支障が出ると認められる場合に限ります。

※3 ワorkshop等のリハーサル及び仕込みは対象外とします。

※利用施設の受付担当者には、必ず財団に現在助成金申請中であることと、採択・不採択の結果が後日判ることをお伝えください。

※減免申請書を提出の際、福岡市文化芸術振興財団又は福岡市文化振興課長の確認の記名押印が必要な場合がありますが、どちらの場合でも、必ず福岡市文化芸術振興財団へ記名押印が必要な書類をご持参ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後国や自治体の要請に伴い各施設等の取扱いが改訂されることが想定されます。そのため採択後も事務局と密に連絡をとり、必要に応じて事業内容、時期、会場等の計画を適切に修正し、必要な手続きを経て事業を進めてください

- (2) ポスター、チラシを福岡市の施設に置くことができます。
- (3) 当財団のホームページ・メールマガジン等により活動の実施案内を配信できます。
- (4) 助成対象活動のプレイベント（広報活動）に福岡アジア美術館アートカフェをご活用いただけます。詳しくはご相談ください。

11 助成を受けている旨の表示について

助成金交付内定を受けた団体・個人は、当該活動の実施に際して作成するポスター、チラシ、プログラム等の印刷物に『助成：(公財)福岡市文化芸術振興財団「FFAC ステップアップ助成プログラム（テキストまたはロゴ）」、後援：福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団』と必ず記載してください。

12 活動の実施確認について

活動の実施確認と評価のため、各分野の専門人材であるアドバイザーと事務局員(財団職員)が活動の視察を行い、フィードバックを行ないます。

13 実施報告書の提出および報告会への参加について

助成金交付決定を受けた団体・個人には、活動実施後に報告書を作成し、提出いただくとともに報告会において、活動の実施成果・課題などについてご報告いただきます。同報告会においてはアドバイザーの評価をお伝えするとともに、アドバイザーや他の参加者と意見交換を行う場を設けます。

14 申請にあたっての提出物（各1部）

- ・FFAC ステップアップ助成プログラム 交付申請書（様式第1号）
- ・添付様式一式
（活動内容(1)(2)、団体概要・個人略歴、団体名簿(団体のみ)、収支予算積算内訳、チェックシート）
- ・団体規約（団体の場合）
- ・実績資料（過去公演チラシ、パンフレット等、3枚以内）

15 申請書提出についての留意事項

- (1) 申請書の提出は、助成金の交付を受けようとする活動の主催者が行ってください。
- (2) 申請書の記入にあたっては、本募集要項を必ずお読みください。

提出する申請書等は、助成の採択にあたっての審査資料となります。不実の記載や提出後に活動内容や予算額に大きな変更が生じることがないように、十分に検討の上、具体的かつ簡潔に作成してください。

なお、助成金の交付決定後に、団体の組織、対象活動の内容・会場・収支予算等に重要

な変更が生じていると認められる場合は、交付されないことがあります。変更が生じる可能性が出てきた場合は、必ず事前に事務局までご相談ください。

- (3) 収支予算積算内訳の作成にあたっては、別表「助成金の対象となる経費」及び申請書の記載例を参考に記入してください。
- (4) 企業からの協賛金等や民間助成団体からの助成金、補助金等の助成を受ける活動についても交付の対象となりますが、必ず収支予算積算内訳の所定の欄に記載してください。ただし、特定の企業名等を活動名に付する「名称冠公演」は交付の対象となりません。
- (5) 収支予算書の収入総額と支出合計額は同一になるようにしてください。
- (6) 同一の団体・個人及び同一とみなされる団体（団体構成員が重複）が、複数の活動を申請することはできません（ステップアップ助成プログラム内の異なる助成であっても、複数に申請することはできません）。
- (7) 附属資料等が外国語で記載されている場合、必ず和訳を付けてください。

16 受付期間

令和4年6月15日（水）～ 令和4年7月14日（木）

※郵送での申請の場合は、7月14日（木）必着

※メールでの申請の場合は、7月14日（木）17時までに送信。

17 申請方法

電子メールまたは郵送にて提出ください。持参での受け付けはいたしません。

①電子メールによる提出（令和4年6月15日（水）受付開始）

提出先：stepup@ffac.or.jp

※ 7月14日（木）17時までに送信を完了してください。

※ メールタイトルの「**②FFAC ステップアップ助成プログラム申請**」と記載ください。

※迷惑メール対策などで「アドレス指定受信」、「ドメイン指定受信」、「メールフィルター」など、インターネットメールの拒否設定を行っているとう受信できないことがあります。財団(@ffac.or.jp)からのメールが受信できるよう、設定の変更をお願いします。

※ 申請メールを受信したときは、翌営業日までに申請を受領した旨をメールにてご連絡します。確認メールが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。

② 郵送による提出（令和4年6月15日（水）受付開始）

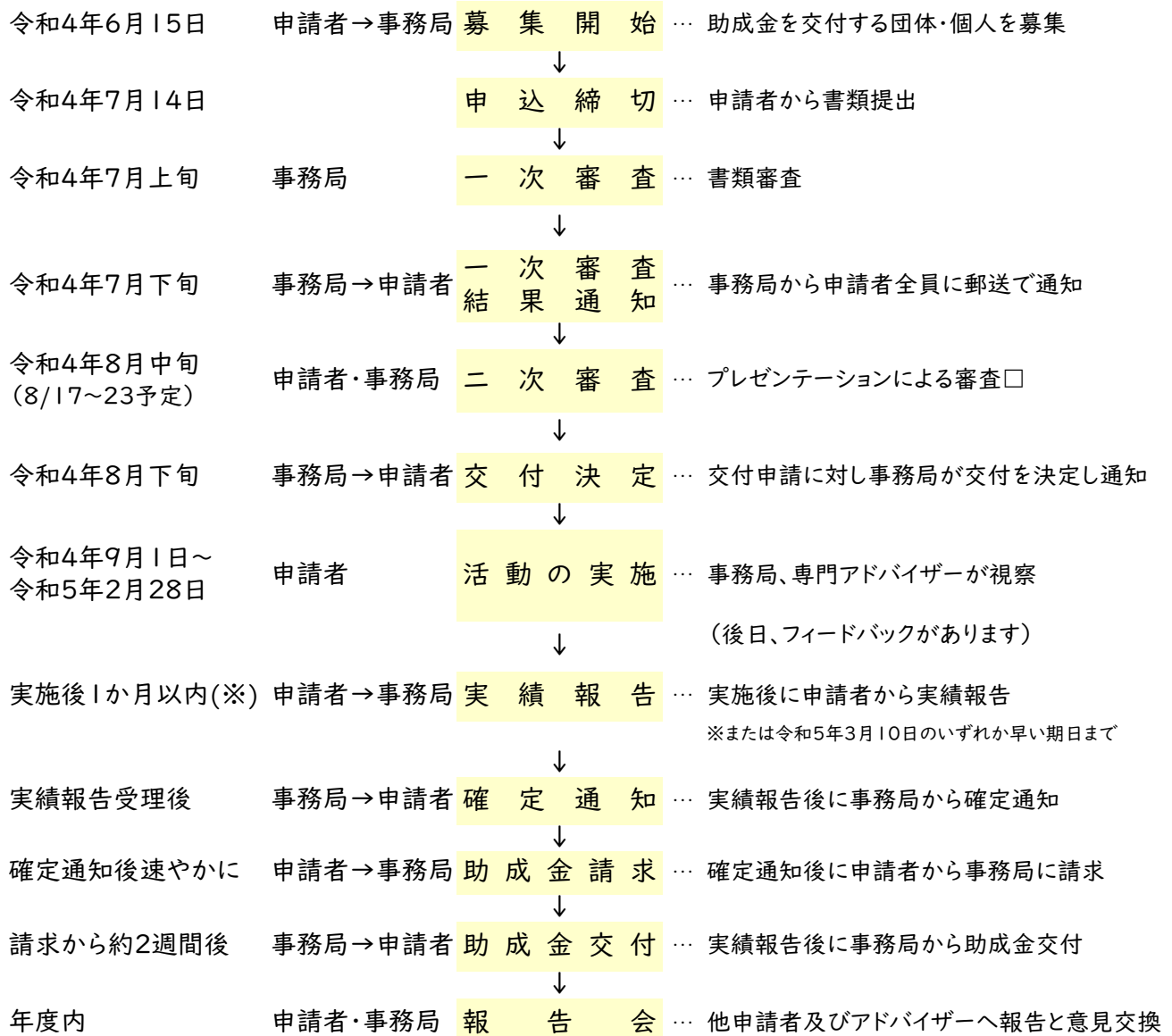
郵送先：〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階
(公財)福岡市文化芸術振興財団

※7月14日(木)必着です。

※配達記録等、郵送の記録が残る形で送付ください。受領の連絡はいたしません。

※送付された申請書、資料は返却いたしません。

■手続きの流れ(②発展活動助成)



※その他手続き(該当の場合のみ)

変更申請	内容に変更がある場合には申請者から提出 ※実施1か月前まで
一部前払金申請	一部前払金を希望する場合には申請者から提出 交付決定額の1/2(50%)上限で一部前払い
中止・廃止申請	事業を中止又は廃止する場合には申請者から提出

(様式第1号)

令和4年度 FFACステップアップ助成プログラム 交付申請書

年 月 日

公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団理事長

住所： 〒***-***
○○市○○区○○

団体名(団体のみ)： ○○○○○○○○

代表者職・氏名： 代表 ○○○○

(芸名、雅号など： ○○ ○○)

下記のとおり申請いたします。

記

助成の種類	発展活動助成
-------	--------

担当者 連絡先	関係書類送付先住所 〒***-*** ○○市○○区○○・・・	
	電話番号(勤務先・自宅・携帯) ***-***-***	Emailアドレス ***@***.**, **
	時間外連絡先 ***-***-***	ふりがな ***** 氏名 ○○ ○○
	FAX番号(あれば) ***-***-***	

代表者 連絡先	電話番号 ***-***-***	Emailアドレス ***@***.**, **
------------	---------------------	-----------------------------

交付を受けようとする助成金の額

収支予算	(収入)		(支出)	
	区分	予算額(円)	区分	予算額(円)
	活動収入 小計(イ)	405000	助成対象経費 合計(A)	1244800
	自己負担金(ロ)	839800		

交付申請額	40	万円
-------	----	----

※助成金は次の金額内に収まっているか、ご確認願います。□

- ① 助成対象経費(A)の2分の1の額 = 622400 円
- ② 自己負担金(ロ)の額 = 839800 円
- ⇒ ①②のうち、低い額 = 62 万円 (端数切り捨て、1万円単位)

ただし、発展活動助成は上限40万円。

※色のついたセルは自動計算の結果が表示されるので、計算式を変更しないでください。

活動内容(1)

助成の種類	発展活動助成
申請者の種別	団体
ジャンル	演劇
(ふりがな)	△△△△△ △△△△△△△△
活動名	○○○○○ ○○○○○○○○ ☆具体的な公演名等（ポスター等に表示する名称）を記入してください。

活動の目的及び内容	(趣旨・目的)	
	☆当該活動を行う目的、意義等を簡潔に記入してください。	
	(実施時期・回数・日数)	(実施場所・文化施設名)
	***年**月**日～**日 *回	○○会館 大ホール（福岡市○○区○○）
	(内容) 活動内容について具体的にご記入ください。 ※活動に参加する出演者・スタッフについては、フルネームでご記入ください。 ※この表に収まるように記載してください。	
(公演：概要、演目、曲目、幕構成等) (展示：作品の種類、点数、主な作品名、出品者等)		

活動内容(2)

審査項目に対する活動のポイント	<p>※募集要項の審査項目に沿ってご記入ください 【審査項目：創造性、波及性、地域への貢献、技能性、発展性】</p>
本活動によって申込者が目指すステップアップの内容（成果目標）	<p>当該活動を計画するに至った経緯や背景（従来の活動の課題等を踏まえ、具体的に記載してください）</p> <hr/> <p>当該活動のステップアップの内容と成果目標（従来の活動から見て、どのような新しい取組を行い、どのような目標の達成を目指すのか具体的に記載してください）</p> <hr/> <p>当該活動終了後のビジョン（当該活動の成果を将来的にどう活かしていくか、具体的に記載してください）</p>
共催者・後援者・協賛者等の名称と役割	<p>共催／〇〇〇〇 後援／〇〇県（申込中） 協賛／〇〇〇株式会社（協賛金提供）、〇〇〇新聞社（広報協力）</p>
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について	<p><input type="checkbox"/>福岡県が協力を要請する「催物（イベント等）の開催制限等」を確認し、感染防止対策を講じた上で開催します。 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-cooperation-event.html</p>

団体概要・個人略歴

ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇	代表者 又は個人	職名	代表	
	団体名		〇〇〇〇〇〇〇〇	ふりがな	△△△△△△△△△
団体住所 (所在地)	〒 ***-**** 〇〇市〇〇区〇〇・・・		氏名	〇〇〇〇〇 (芸名・雅号など:)	
			生年月日	大正・昭和・平成 **年(和歴) **年 **月	
			性別		
		電話番号	***-***-****		
		ホームページアドレス	http://www.***.***.jp		
団体設立年月(個人の場合は、活動開始年月)		西暦 **年 **月 ※申請時点で2年以上であること			
法人設立年月(法人の場合のみ記入)		西暦 **年 **月(主務官庁名:) ※申請時点で2年以上であること			
沿革	**年**月 〇〇愛好会 **名で結成 **年**月 第1回公演「〇〇〇〇」を行う **年**月 〇〇〇〇〇〇賞を受賞 **年**月 「〇〇〇」と改称 **年**月 第2回公演「〇〇〇〇」を行う **年**月 〇〇〇と合同で〇〇〇〇〇〇を行う ※設立の目的や経緯、設立から現在までの組織の変遷、これまでに行った主な活動等を記入して下さい。				
計画	[2022年度の主な自主事業計画] 〇〇〇〇公演 ☆2022年度に計画している自主事業について記入してください。				
主催した公演・展示等の実績	●●年●●月 第1回公演「〇〇〇〇」公演 第2回公演「〇〇〇〇」公演 ●●年●●月 第3回公演「〇〇〇〇」公演 とシンポジウム開催 ●●年●●月 第4回公演「〇〇〇〇」公演 ※過去2年間に、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術活動に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していることが必要です。あわせて、実績資料(過去公演チラシ、パンフレット等)を提出してください。				
過去助成金実績	■FFACステップアップ助成プログラム 採択年度 [●●年度 / ●●年度 / ●●年度] ■その他助成金 [助成金名称・採択年度: 〇〇〇〇基金助成 / ●●年度] [助成金名称・採択年度: 〇〇県〇〇文化活動支援助成 / ●●年度]				

団体名簿

年 月 日 現在

団体名	○○○○○○○○
-----	----------

	役職	氏名(ご本名)	フリガナ	性別	生年月日		
					年(※和歴)	月	日
1	代表	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
2	副代表	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
3	事務局長	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
4	会計	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
5	会計	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
6	監事	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
7	事務担当	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
8	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
9	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
10	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
11	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
12	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
13	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
14	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
15	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
16				男・女			
17				男・女			
18				男・女			
19				男・女			
20				男・女			

※この用紙は任意様式です。同上項目が記載された既存の名簿がある場合はそちらに替えてご提出されても差支えありません。

[注意事項]

- 団体規約の規定による会計、監査の担当者を必ず明記してください。会計と監査は、適正な監査のため、同一人物が兼任しないようにしてください。
- 福岡市暴力団排除条例第6条の規定により、暴力団または暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有する団体・個人でないことが助成の対象条件です。採択決定にあたり、警察へ照会を行います。

収支予算積算内訳

(収 入) ※積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や日数等を具体的に記入してください。

区分	予算額 (円)	内訳			
		項目	単価 (円)	数量	金額 (円)
活動収入	145000	入場料(前売)	1000	100	100000
		入場料(当日)	1500	30	45000
	※入場料収入は下記計算式を用い、入場見込率は65%以上で設定し、計算すること。 ※設定席数は、使用予定会場の定員に対し、申請時の、新型コロナウイルスの対策に係る各所の使用要件、要請をふまえて設定してください。 設定席数 席×入場見込率 % = 入場者見込み 人				
	100000	〇〇負担金	100000	1	100000
	100000	〇〇振興基金助成金			100000
	※内定済みの助成金はこちらに記入し、申請中の助成金は、枠外の別欄に記入すること。 ※「FFACステップアップ助成プログラム」の助成金は記入しないこと。				
	20000	〇〇株式会社	20000	1	20000
40000	ワークショップ等の参加費	20000	2	40000	
0	広告料・その他収入				
小計 (イ)	405000				
自己負担金 (ロ)	839800	(交付申請額: ***,***円)			
合計 (イ) + (ロ)	1244800	※収入合計と支出合計 (A) は一致するように記載してください。			

※申請中の助成金がある場合、その申請先と申請額を記入してください。

収支予算積算内訳

(支 出) ※積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や日数等を具体的に記入してください。

区分	予算額 (円)	内 訳				
		項目	単価 (円)	数量	金額 (円)	
作品借上費	150000	作品借上料	50000	1	50000	
		作品保険料	100000	1	100000	
出演・音楽・文芸費	530000	出演料	出演料	30000	5	150000
			演奏料	30000	5	150000
		音楽費	編曲料	30000	1	30000
						0
		文芸費	舞台監督費	100000	1	100000
			著作権資料料	100000	1	100000
設営・舞台裏	170000	舞台費	道具費	50000	1	50000
			会場借上料	50000	1	50000
			会場付帯設備費	50000	1	50000
		運営費	スタッフ弁当代	1000	20	20000
						0
助成対象経費	394800	謝金	会場整理謝金	10000	3	30000
						0
		旅費	出演者交通費	5000	5	25000
						0
		通信費	案内状送付料	84	100	8400
						0
		宣伝費	新聞広告費	250000	1	250000
						0
						0
		印刷費	チラシ	2	500	1000
			ポスター	2	50	100
			プログラム	2	150	300
		記録費	写真費	50000	1	50000
				0		
保険料	催事保険料	10000	3	30000		
				0		
合計 (A)	1244800	※収入合計と支出合計 (A) は一致するように記載してください。				

FFACステップアップ助成プログラム チェックシート

団体名または個人名	
活動名	

※ 交付申請書及び記入例を参照の上、作成した提出書類に不備等がないことを□欄にチェックを入れ、最終確認してください。

● 提出書類について

(団体の場合) 団体の定款、寄付行為又はこれらに類する規約・会員名簿等を添付しましたか。

出演者のプロフィールや活動実績が判る資料(過去公演チラシ等)を添付しましたか。

提出書類の団体名(個人名)、代表者名、は全て統一されていますか。

● FFACステップアップ助成プログラム交付申請書(様式第1号)、及び活動内容・団体概要・個人略歴

申請者欄に記載している団体名(個人名)が、活動の主催者ですか。

申請者の種別・ジャンルについて○印をつけましたか。(それぞれ、いずれか一つを選択)

活動の実施時期・回数・日数、会場・施設名は具体的に記入しましたか。

活動の目的及び内容、活動のポイントについて、募集案内の記入例を参照のうえ、記入しましたか。

ステップアップの内容(成果目標)、新型コロナウイルス感染拡大防止策等、該当するすべてを記入しましたか。

担当者の連絡先を記入しましたか。

● 収支予算積算内訳

会場の設定席数、入場見込を記入しましたか。
(入場料・参加料が無料の場合、無料の理由を記入しましたか。)

当該活動で他の助成金に申請あるいは内定している場合、該当する欄にその内容を記入しましたか。

自己負担金の内訳にその調達方法を記入しましたか。

再計算し、数字は間違っていないか確認しましたか。

直接経費の区分は適正ですか。(別表参照)

直接経費に記載できない項目が入っていませんか。(別表参照)

経費の内訳は具体的な名称になっていますか。(「雑費」「予備費」などの費目は認められません。)

収入総額と支出合計は同一金額になっていますか。

交付を受けようとする助成金の額は規定の範囲内の金額になっていますか。

控えとして、提出物の写しは取りましたか。必ず保管してください。